

## 第 19 回自然公園研究会 開催のご案内

テーマ：利用像のあり方の変遷を通じて国立公園の歴史を探る

日本の国立公園はいよいよ 100 年という節目を迎えようとしています。近年では、満喫プロジェクトの推進や「保護と利用の好循環」という標語のもと、利用体験の高付加価値化が模索されています。近代化、第二次世界大戦、高度経済成長、バブル経済、人口減少社会など社会は変化しつづける中で、休養地、健民・体力錬成、レジャー・レクリエーション、リゾート、インバウンド観光など、国立公園に対する社会からの期待や位置付けも変化し、常に社会的ニーズとの調整の中で国立公園の保護と利用のあり方模索され続けてきました。そこで、今回の研究会では社会的ニーズと利用像のあり方の変遷を通じて国立公園の歴史を探ることで、今後の国立公園のあり方をめぐった論点を共有し、議論します。

日時： 2024 年 9 月 20 日（金） 14：30～17：30

会場： 日本交通公社ビル (<https://www.jtb.or.jp/about/map/>) ※会場定員 30 名（申込先着順）  
※別途、オンライン配信（視聴のみ・事前登録制）を予定しています。

### プログラム：

- 14：30 開会
- 14：35～15：05 発表 1：  
【30 分】 戦前・戦中期の国立公園の利用像をめぐった模索：田村剛と地域社会の目線から（仮）  
水内 佑輔 氏（東京大学大学院 農学生命科学研究科附属演習林 助教）
- 15：05～15：35 発表 2：  
【30 分】 都市からみた観光対象としての自然公園へのまなざしの変遷と展望（仮）  
津々見 崇 氏（東京工業大学 環境・社会理工学院 助教）
- 15：35～16：15 発表 3：  
【40 分】 国立公園の利用のあり方の変遷（仮）  
番匠 克二 氏（環境省 自然環境局自然環境計画課 課長）
- 16：15～16：20 休憩
- 16：20～17：30 ディスカッション：  
コーディネーター：土屋 俊幸 氏（東京農工大学 名誉教授）  
パネリスト：津々見 崇 氏  
番匠 克二 氏  
水内 佑輔 氏
- 17：30 閉会

※五十音順

### 申込・お問合せ：

- ・参加を希望される方は、ご所属、お名前、ご連絡先（E メールまたは電話番号）、参加方法（現地会場またはオンライン視聴）を添えて、下記事務局宛てに 9 月 13 日（金）迄にお申し込みください。
- ・現地会場でのご参加受付は先着順になりますので、恐れ入りますがお早めにお申し込みください。
- ・お申し込みから 3 営業日以内に、受付メールをお送りいたします。
- ・現地会場での参加をご希望の方で、お申込み時点で定員に達していた場合は、受付メールにその旨を記載させて頂くとともに、事務局にてオンライン視聴でのご参加登録をさせていただきます。

公益財団法人日本交通公社 自然公園研究会事務局

メール：[shizen@jtb.or.jp](mailto:shizen@jtb.or.jp)

TEL：03-5770-8440

FAX：03-5770-8359

\*お預かりした個人情報は、本研究会のご案内等、当財団が定める個人情報の利用目的の範囲内で利用させていただきます。  
当財団の個人情報の取扱いについての詳細はホームページ (<http://www.jtb.or.jp/>) をご覧ください